

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月30日

【評価実施概要】

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 事業所番号 | 0870700291 |
| 法人名 | 有限会社 かなくぼ薬局 |
| 事業所名 | グループホーム ハーモニー城ノ内 |
| 所在地 (電話番号) | 茨城県結城市結城8670-2 (電話) 0296-33-8265 |

| | | | |
|-------|---------------------|-------|-----------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 認知症ケア研究所 | | |
| 所在地 | 茨城県取手市井野台4-9-3 D101 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年2月20日 | 評価確定日 | 平成20年7月7日 |

【情報提供票より】(20年1月30日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|------------------|-----------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 7 月 15 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 15 人 | 常勤 15 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 13 人 | |

(2)建物概要

| | | | | |
|------|-------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 建物形態 | <input checked="" type="radio"/> 併設 | <input type="radio"/> 単独 | <input checked="" type="radio"/> 新築 | <input type="radio"/> 改築 |
| 建物構造 | 木造 造り | | | |
| | 1 階建ての | | 階 ~ | 1 階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--|------------------------------------|--------------------------------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 42,000 円 | その他の経費(月額) | 18,000 円 | |
| 敷金 | 有() 円 | <input checked="" type="radio"/> 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | <input checked="" type="radio"/> 200,000 円 | 有りの場合 償却の有無 | 有 <input checked="" type="radio"/> 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 450 円 | おやつ | 150 円 |
| | または1日当たり 1,300 円 | | | |

(4)利用者の概要

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 16 名 | 男性 | 3 名 | 女性 | 13 名 |
| 要介護1 | 6 名 | 要介護2 | 3 名 | | |
| 要介護3 | 7 名 | 要介護4 | 0 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 84 歳 | 最低 | 75 歳 | 最高 | 97 歳 |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|---------------------------|
| 協力医療機関名 | ①結城病院 ②城西病院 ③大木医院 ④三木歯科医院 |
|---------|---------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム周辺には、近隣の人々が憩いの場として集う運動公園や田畑が広がり、自然や季節感を感じながら、のんびりと生活できる環境にある。グループホーム以外にもデイサービスや訪問介護事業、市から委託された配食サービス事業を行っている。ホーム内は落ち着いた空間であり、利用者は趣味の編み物を行ったり、利用者同士で会話を楽しんだりと思い思いに過ごされていた。利用者一人ひとりを理解するために「個別ノート」を作成するなど、質の高いケアを目指し努力されている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 活動意欲を触発する物品に関して、改善点としてあげられたが、談話室を趣味活動の場としてパズルやお手玉を置き、いつでも楽しめるように取り組んだ。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価について職員に確認しながら行い、最終的には管理者がまとめた。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 会議では、ホームの外部評価の公表や、ホームで行われる行事内容の報告、ホームの運営などについて話し合っている。地域の方から、避難場所に関して意見があがり近隣の公民館を提供してくれた。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 苦情箱が設置しており、色々な意見を出してもらえるように家族会を年1回実施している。意見等があった場合の記録もされている。 |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 日頃から、行事等に参加を呼びかけながら、ホームへの理解や協力体制が得られるように働きかけに努めている。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|---|------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型を踏まえた理念を掲げている。 | | ユニット毎に目標を立案し、今後取り組んで頂きたいと感じる。また、理念に基づいた中で目標を立てることにより、質の向上やチームワークも更に図れると思われる。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎朝、朝礼時に理念を復唱し理念の実践に向けて取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 近隣の保育園との交流や、散歩中に地元の方が農作物や花をわけて下さったり、市の文化祭に参加したり、また図書館に足を運んだり地域の人々と交流している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価については、職員に確認する機会をもち最終的に管理者がまとめている。外部評価に関して、家族に意見をもらったり、会議で説明したり、改善点に向けた話し合いもされている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回、利用者・家族・民生委員や町内会長・行政等の参加があり、ホームの向上に向けて意見が出され業務に活かしている。会議録も作成されている。 | | |

茨城県 グループホームハーモニー城ノ内

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|------|---|
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>介護事故時や介護認定の更新など様々な状況に応じて、市の担当者と話し合いを行っている。法人内では、市から委託された配食サービスを行っている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>利用者の暮らしぶりや健康面について、家族の面会時や毎月1回手紙にして報告している。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>苦情箱が設置されており、家族会を年に1回実施している。信頼関係作りに努め、家族会では意見が出しやすいように雰囲気作りにも配慮している。意見等の記録もされている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>異動は最小限行わないようにしており、管理者は職員の悩みや相談事を聞くようにし離職しないように努めている。</p> | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>個別ノートを作成し、利用者の理解を深めるトレーニングを実施している。それぞれの職員は色々な視点で観察し記録している。研修は段階に応じて参加し、参加した職員が勉強会を行っている。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>県のグループホーム協議会主催の勉強会に参加している。近隣のグループホームに訪問し意見交換をしている。</p> | | <p>代表者は他のホームとの交流があるが、今後、管理者や現場の職員が交流の機会をもつことにより、さらなる質の向上につながると思われる。是非、ホーム同士での職員の交流を深め、意見交換して頂きたい。</p> |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|--|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人や家族に、ホームの雰囲気に馴染んでいただけるように体験入所を取り入れている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 季節の行事や郷土料理を教えてもらったりと、利用者から学ぶ機会がある。職員は利用者の生活歴を大切に、支えあう関係を築いている。利用者同士の関係性も良く互いに存在を気にする場面が見られる。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 思いや意向を把握するために、個別ノートを作成している。食事の時間や夜間などゆっくりと話が出来る時間を大切にし、利用者の話を聞くようにしている。 | | 実際に利用者が何を望んでいるのかを把握することにより、ケアのポイントがつかめると感じる。代表者も含め、日常の業務の見直しや、その人らしい暮らしを続けるためにも、ケアの見直しすることに取り組んで頂きたい。また、個別ノートを大いに活用して頂きたい。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 「変化が期待できる支援」「個別的な支援」に分けての介護計画であり、利用者のニーズに基づいたプランが作成されている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 期間に応じて見直しを行い、計画作成している。状態変化があった時には、アセスメントから取り直して計画作成している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|---|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 家族の希望に応じて、病院への通院サービスを行っている。ボランティアの慰問があると、デイサービスの利用者と合同で参加するなど交流の機会がある。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 家族と通院する場合は「受診ノート」を準備し、細かいことも医師に報告できるような体制をとっている。2週間に1回、往診がある。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合の利用者・家族の意向を早い段階で話し合いをされており、全員で方針の共有をしている。 | ○ | 終末期に向けての指針について、個別的に再度話し合いの場をもち確認をとると良いと感じる。また、終末期の利用者に対してのケア方針や業務体制を、ホーム全体で考慮することにより利用者・家族がより安心して過ごしていけるよう期待する。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報の取り扱いに対して、家族に承諾を得ている。居室見学の際、必ず利用者に声をかけ承諾を得てから入室していた。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者の気持ちを尊重し、買物などの希望や要望に対応できるように努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 厨房で作った食事を提供しているが、野菜を切ったり、皮むきしたり、皿に盛り付けたり、片付け等を利用者と一緒に行っている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | ゆったりとした空間の浴室であり、必要な場所に手すりが設置されている。基本的な時間、曜日は決められているが本人の希望に応じて対応するように努めている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 芝刈りや庭の草むしり・縫い物や野菜切りなど、利用者1人ひとりの得意な事や出来る事が活かせるように支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常的に散歩に出かけ、季節の花を摘んだり、近所の公園で行っているゲートボールを見学したりしており、職員も楽しく外出できるよう支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中、居室や玄関の鍵をかけておらず、利用者が自由に出入りできる環境になっている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 利用者と共に避難訓練を実施しており、消火器を使って消火体験を行っている。夜間想定の実施を予定しており、食料品等の備蓄についても検討中である。 | ○ | 災害時の食料品などの備蓄品に関して、今後取り組んで頂きたい。また、地域の協力が得られるよう、一緒に訓練に参加する機会を作るなど働きかけを期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事・水分量の確認や記録をしている。栄養バランスについては、栄養士が管理している。排泄の管理や毎月、体重測定し健康状態を把握している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 廊下には季節の花があったり、雛人形を飾ったりと季節感が感じられた。共用空間は照明に配慮されたり、椅子やテーブルを設置し居心地よく過ごせるよう工夫している。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 仏壇や趣味の物があったり、タンスやテレビ等持ち込まれており、その人らしい空間が感じられた。家族にも協力してもらえるよう、随時声かけを行っている。 | | |